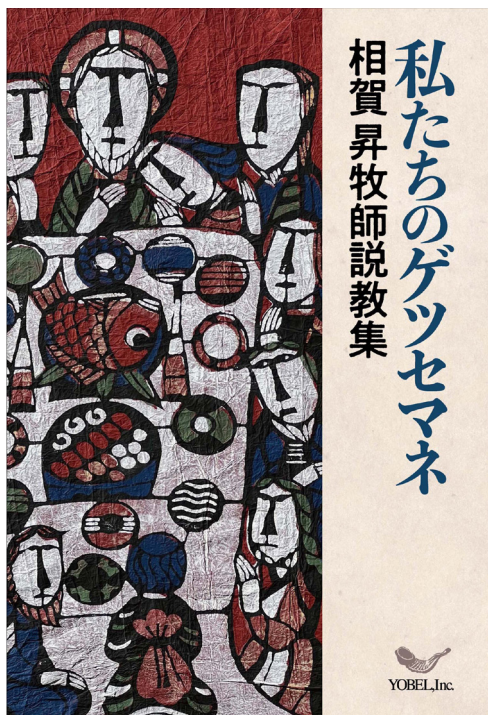




3月10日刊行予定



四六判・256頁・定価1,760円(税込)

ISBN978-4-911054-43-7 C0016 本体1,600円+税

相賀 昇牧師説教集 私たちのゲツセマネ

「神の声に耳を傾けることの中に 世界の未来がある」と 信じる信仰によって。

私たち一人ひとりにもまたゲツセマネの祈りがあり、またそれを避けることはできないと思います。しかし私たちの祈りは決して孤独ではなく主イエスの祈りによって支えられているのです。わたしたちもまた、闇がどんなに深くても、必ず光がやみに打ち勝つこと、人間の罪がどんなに深くても神様の愛と恵みと憐れみによって克服されることを信じるべきではないでしょうか、そして私たちもまたゲツセマネをおおっていた闇のような暗さの中で、「立て、行こう」と招かれるイエス様のあとに従うべきであらうと思います。(本文より)

相賀 昇(あいが・のぼる)

1955年 茨城県水海道市(現常総市)生まれ。早稲田大学、東京神学大学、独フンボルト大学に学ぶ。
1988年6月 早稲田教会伝道師に就任、1990年4月 同教会担任教師。
この間1984年2月-92年2月 早稲田奉仕園専任職員をへて主事(1988年10月-)。
1992年5月 ドイツ・プロテスタント奨学生として渡独、1998年8月 日本キリスト教団派遣宣教師としてベルリン・ブランデンブルク州福音主義教会協力牧師及びベルリン日本語教会牧師。
2004年4月 田園江田教会牧師、同年8月 田園都筑伝道所牧師、2008年4月 田園都筑教会牧師。
2024年3月 田園都筑教会牧師を辞任、同年4月 稲城教会牧師就任予定。

2005-12年にかけ、農村伝道神学校講師、青山学院大学非常勤講師。2011年6月より横浜基督教青年会(YMCA)常議員、2013年6月より早稲田奉仕園理事。

2000年4月-03年3月 「ベルリン便り」を『福音と世界』(新教出版社)に連載。訳書にA・ファン・リューラー 著『キリスト者は何を信じているか—昨日・今日・明日の使徒信条』(教文館、2001年)ほか。

主な目次

罪と死からの解放 ローマ8・1—11
見よ、わたしは新しいことを行う イザヤ書43・19
見よ、十字架の主 マタイ27・32—56
謙遜な信仰 ルカ7・1—10
群れはもはや恐れず エレミヤ書23・1—6
主を信じる群れとして 使徒9・31—43
私たちのゲツセマネ マルコ14・32—42
願いと祈り、執り成しと感謝 テモテ2・1—7
友のため命を捨てる愛 ヨハネ15・12—17
汝が助けはみ神より 詩編121・1—8
揺り動かされることのない御国 ヘブライ12・18—29
イエス様こそ私の最高の宝 マタイによる福音書2・11
人間に従うより、神に 使徒5・19—32
すべての人が生かされ コリント15・20—28
言は肉となつて ヨハネ1・14—18
勝ち得て餘あり ローマ8・37
主の受洗と私たちの祝福 マルコ1・9—11
平和を保ち、主を畏れ 使徒9・26—31
神の創造と人間の墮落 創世記4・1—10
天の故郷を熱望して ヘブラ11・8—10・15—16
喜び・拝み・献げるクリスマス マタイ2・1—12
深い憐れみの御手に触れ マルコ1・40—45
荒れ野の試練に耐えて マルコ1・12—15
主は生きておられる ルカ24・1—8
主よ、共に宿りませ ルカ24・25—35
主において同じ思いを フィリピ4・1—4
すべての人との平和を ローマ12・9—21
主に倣う新しい人を身に着け コロサイ3・1—11
救いの約束とモーセの出生 出エジプト記1・22、2・1—10
平和と恵みの良い知らせ イザヤ書52・1—10
分かち合う五つのパンと二匹の魚 ヨハネ6・1—15
主の受難とポンティオ・ピラト ヨハネ18・33—40
一人の新しい人に造り上げて エフェソ2・14—22
エッセー〈ベルリン便り〉
追悼 エーバハルト・ベートゲ
ベルナウ通りの「和解のカペレ」／あとがき

2月7日(金)発売予定

 **サンパウロ** 新刊案内

ゆるしの秘跡

石脇 秀俊 著

「秘跡」とは、主イエス・キリストによって制定された「目に見えない神の恵みの目に見えるしるし」である。カトリック教会には、この秘跡が七つ存在する。

その中の一つである「ゆるしの秘跡」は、信徒が罪を告白し、神のゆるしを受けるための儀式である。

子どもを含めた信徒の方々や教会学校の指導者の方々に、この「ゆるしの秘跡」が、神の愛に直接触れることのできる、また希望に満ちた信仰生活を送るための喜びの秘跡であることを知ってもらうために、本書は分かりやすく解説する。

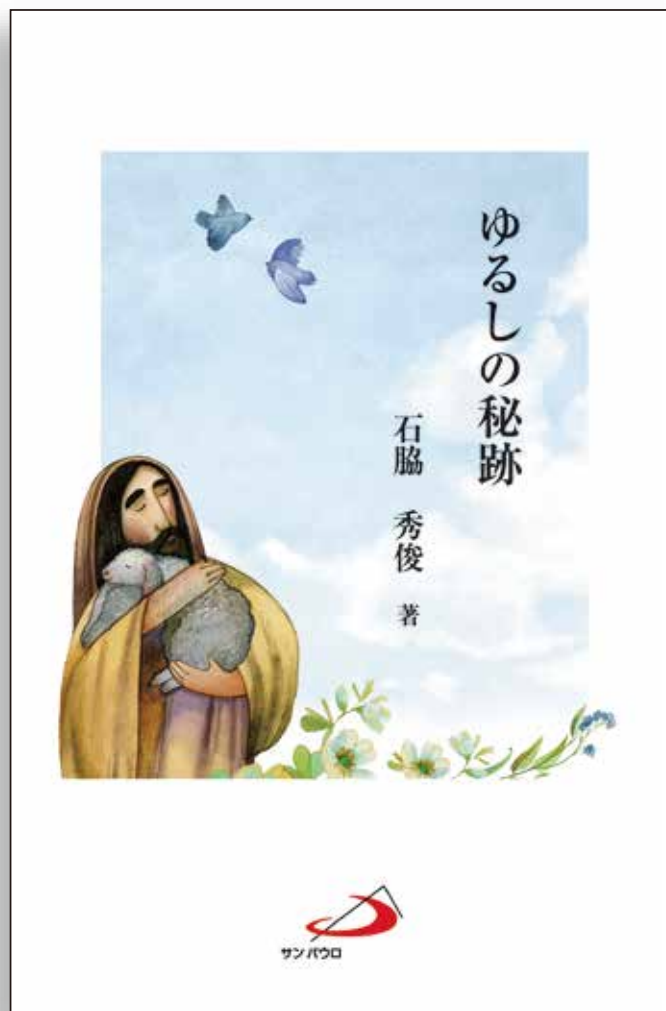
著者紹介 **石脇 秀俊** (いしわき ひでとし)

1966年 4月 大阪府大阪市生まれ。

1999年12月 司祭叙階。

2024年 4月 東京教区本部協力司祭(「ペトロの家」在住)。

著 書 『「使徒信条」を祈る』、『聖体の秘跡』(サンパウロ)



•小B6判 •92頁 •並製 •定価 1,100円 (本体1,000円+税) •ISBN978-4-8056-8810-6 C0016

2月7日(金)発売予定

 **サンパウロ** 新刊案内

エウカリスチア

聖体の秘跡

石脇 秀俊 著

「秘跡」とは、主であるイエス・キリストによって制定された「目に見えない神の恵みの目に見えるしるし」である。カトリック教会には、この秘跡が七つ存在する。

その中の一つである「聖体の秘跡」は、カトリック教会にとってもっとも大切なものである。

使徒継承のカトリック教会において、聖書と聖伝、教導職を通して受け継がれてきた「聖体の秘跡」に関する教え、また信仰生活におけるいのちの源であるこの秘跡の中心的教えについて、本書は分かりやすく解説する。

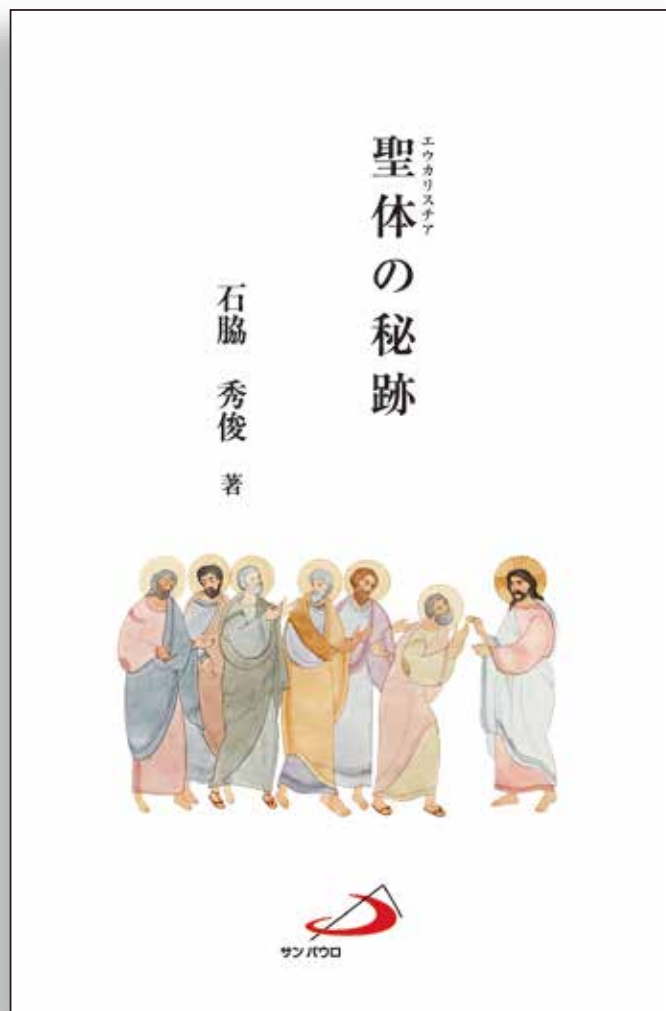
著者紹介 **石脇 秀俊** (いしわき ひでとし)

1966年 4月 大阪府大阪市生まれ。

1999年12月 司祭叙階。

2024年 4月 東京教区本部協力司祭(「ペトロの家」在住)。

著 書 『「使徒信条」を祈る』、『ゆるしの秘跡』(サンパウロ)



•小B6判 •96頁 •並製 •定価 1,100円 (本体1,000円+税) •ISBN978-4-8056-4838-4 C0016

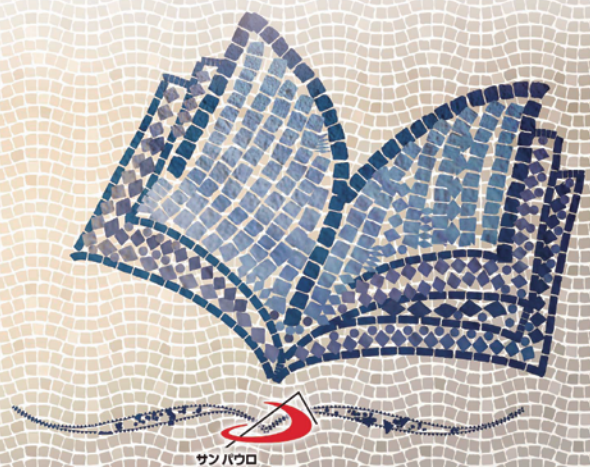
2月10日(月) 発売予定

 **サンパウロ** 新刊案内

七つの痛悔詩編で祈る

聖年 2025 と大阪万博 2025 に合わせて

カトリック大阪高松大司教区司祭 和田 幹男 著
イエズス会 山中 大樹 編



七つの痛悔詩編で祈る

聖年 2025 と大阪万博 2025 に合わせて

カトリック大阪高松大司教区司祭 和田 幹男 著
イエズス会 山中 大樹 編

カトリック教会において、2025 年は「通常聖年」の年である。聖年では自己の精神的刷新が求められる。そしてまた、人は世界の創造者である神のみ前で自己を反省し、誤りがあれば赦しを願い、再び神との和解の道を歩むことを決意するのである。

著者は、「罪を悔やんで神の赦しを願うため、参考となる、旧約聖書の詩編祈りの中から、七つの痛悔の詩編を紹介するのが本書の目的である。」「多様性に対して不寛容になりつつある現代にこそ、改悛はまさに必要なものだと言えるのではないか。」と書いている。本書は、回心の道に気づき直し、歩もうとする読者にとって格好のガイドブックになるに違いない。

著者略歴

和田 幹男 (わだ みきお)

兵庫県出身。1963 年、上智大学大学院哲学研究科卒業。1967 年、ローマ教皇庁立ウルバノ大学神学部博士課程終了(神学博士[DST])。1971 年ローマ教皇庁立聖書研究所聖書学部修士課程修了(聖書学修士[SSL])。現在、カトリック大阪高松大司教区司祭、日本カトリック神学院講師。

編者略歴

山中 大樹 (やまなか たいじゅ)

兵庫県出身。1994 年、上智大学法学部法律学科卒業。1997 年、カトリック・イエズス会入会。2008 年上智大学大学院神学研究科博士課程前期修了(修士[神学]、神学修士[STL])。2014 年、ローマ教皇庁立聖書研究所聖書学部修士課程修了(SSL)。2022 年、同博士課程修了(聖書学博士[SSD])。フォーダム大学(ニューヨーク)Campion (post-doctoral) Fellow (2022 年 9 月～2023 年 8 月)。現在、イエズス会士、カトリック司祭、日本カトリック神学院講師。

• A5 • 108頁 • 並製 • 定価 1,100円 (本体 1,000+税) • ISBN978-4-8056-6418-6 C0016



さいとう たかし
齋藤 孝 著

明治大学文学部教授。1960年
静岡市生まれ。東京大学法学
部卒。同大学大学院教育学研
究科博士課程を経て現職。専
攻は、教育学、身体論、コミュ
ニケーション論。

著書に『声に出して読む 7 歳
からの聖書』（女子パウロ会）、
『読書力』『コミュニケーション
力』（岩波新書）、『声に出して
読みたい旧約聖書〈文語訳〉』
（草思社）、『こども「学問の
すすめ」』（筑摩書房）、『超訳
こども「アドラーの言葉」』
（KADOKAWA）等多数。NHK
Eテレ「にほんごであそぼ」
出演・総合指導。

信じる力

「どんなに迷っていても、一歩踏み出せば違う景色が見えてきます。この一歩に大きな意味があると信じて、足を前に出す。これが、信じる力であり、生きる力だと思うのです。」（〈はじめに〉から）

自分の中の「信じる力」を、呼び覚まし育てていくために、どうしたらよいかを、古今東西の偉人や身近な例を挙げて多角的に解説しています。心の健康法、東洋の瞑想法、自己肯定感の高め方、本来もろい心を鍛える修業の数々等を紹介。

第一章 心と体のよりどころを持つ

「祈る」と「願う」の違い/「悪魔の声」を黙らせる/握り締めることで力が生まれる/否定的なことばを追い出す/知覚を意識する/常に一定の状態にいる/体全体が有機的につながる感覚/自分の体に感謝する/愛とは人のために祈ること/心の健康を保つ方法/何気ない日常の大切さ/「神のうちに身をおく」

第二章 自己肯定感を養い高めていく

自分と他人を一旦切り離す/自分で自分の背中を押す/勇気を身に付ける荒療治/「褒めコメント」という補助輪/ポジティブメッセージに限定する/学びを中心とした生き方/表現の場を持つ/「ソフト&ポジティブ」の時代/ことばのパターンを把握する/限定的な信頼関係の良さ/時の流れを味方につける/科学において失敗はない

第三章 文化を土台に自己を形成する

心とは本来もろいもの/心を強くする修業/勇気を自分の技にする/精神文化を受け継ぐ暗誦/知識と情報の違い/「技」に懸ける気持ち/体の力を抜いてプレイする/数を絞り込んで冷静に/辞世の句という美しい文化/福沢諭吉のメンタル強さ/執着を削ぎ落とす/大地のエネルギーをもらう/自然と共鳴する/変わらずそこにある安定感



第四章 世を照らす松明を次世代に託す

ソクラテスの「無知の知」/魂のお世話をする/不正をせず正義を守る/巨大な個性/たった一人で前に進む仏教/「南無阿弥陀仏」で救われる/親鸞の無敵さ/心にスペースを作る/自律神経を整える/白隠禅師の「軟酥の法」/教師は蜜蜂たれ/信用するとは託すこと/次世代に伝えたい

定価1,430円（本体1,300円+税） 四六判 208頁 ISBN 978-4-7896-0844-2 C0095 並製

佐藤淳一〔著〕 田中マコト〔イラスト〕
A5判・並製 208頁 定価 2,750円（本体 2,500円＋税）
[ISBN 978-4-89586-058-1 C0087]



改訂版

はじめての ヘブライ語

3月初旬
発刊予定

■ 初心者向き

まずは文字の読み書きから。ヘブライ文字の書き方・読み方などを1文字1頁で詳しく解説します。少し進んで、よく使われるフレーズを会話形式で学びます。

■ 親しみやすい工夫

ヘブライ語に読み仮名が付いています。また、たくさんのイラストと楽しいストーリーに沿って、自然と身についていきます。

■ 音声データ付き

本書に収録されている単語や文例の発音を、無料でダウンロードできます。イスラエル在住のヘブライ語ネイティブ・スピーカーによる本物の発音で学ぶことができます。

本書は『はじめてのヘブライ語』の内容を改訂し、イラストを一新した改訂版です

● 佐藤淳一 ● 1958年福岡県生まれ。1978年イスラエルに留学、1988年ヘブライ大学イスラエル民族史学部修士課程修了。

● 田中マコト ● 漫画家・イラストレーター。著書に『オープンマリッジ』（講談社）、『音大出てどうするの？』（YAMAHA）、『イスラエルの翼エルアル』（ミルトス、漫画）他。

好評の旧約篇に続く
待望の新約篇がついに登場！



聖書難問注解 新約篇

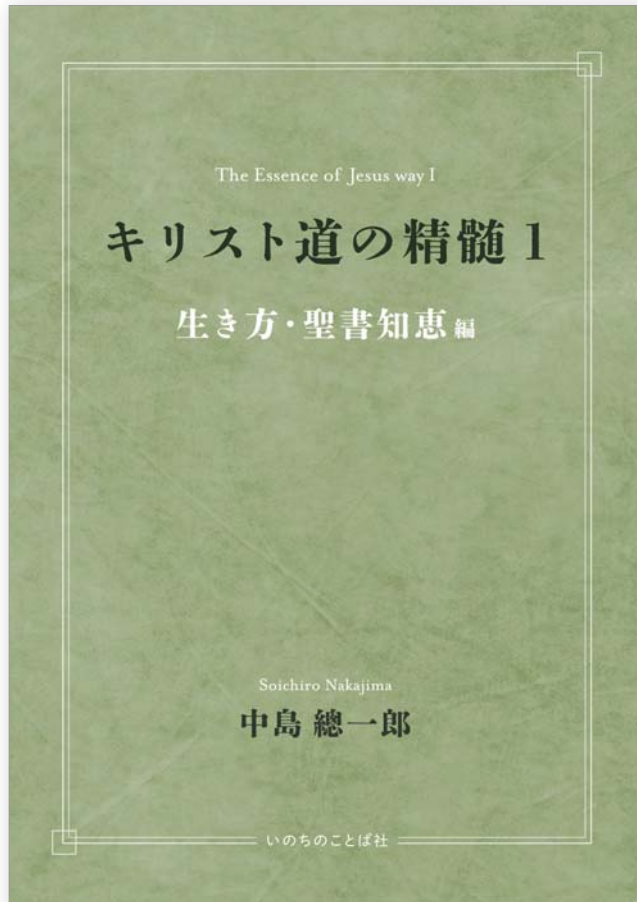
ウォルター・C・カイザー Jr.
ピーター・H・デイビッツ
F・F・ブルース
マンフレッド・T・ブローチ 共著

どのくらいイエスは墓の中にいたのか、赦されない罪とはどういうことか、祈りは病んでいる人を癒やすのか……難解な聖書箇所を取り上げ、解釈の可能性を探る注解書。記者の意図、文脈、時代的・文化的背景などさまざまな要素を考慮に入れ、諸説を紹介しながら、丁寧に解説する。

A5判 736頁 定価7,920円(本体7,200円+税)

ISBN978-4-264-04541-0 C0016

いのちのことば社卸コード 00450



キリスト道の精髓 1

生き方・聖書知恵編

中島総一郎 著

経済人としてもクリスチャンとしても多くの足跡を残してきた著者による、キリスト者として生きていく人が人生で踏み歩んで行くべきキリスト教の本質的部分をまとめた新シリーズ。第1巻は、聖書の知恵が示す生き方の精髓を記す。

A5判 208頁 定価2,090円(本体1,900円+税)

ISBN978-4-264-04549-6 C0016

いのちのことば社卸コード 18115